

# ここが聞きたい!!

4名が登壇

## 松井 岑雄 議員

証明書交付申請書の簡素化を!!



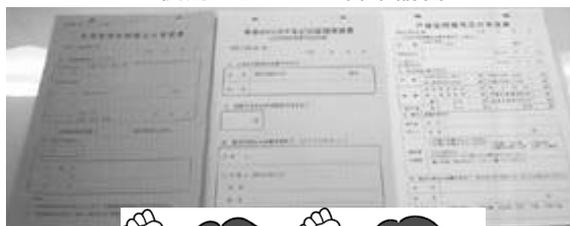
**問** 現在の単式簿記から複式簿記へ変更し、貸借対照表 行政コスト計算書 資金収支計算書 純資産変動計算書の4つの財務諸表を公表し、発生主義をとり入れ、今後の本町の財政健全運営を計られたい。

**答** (町長) 国に準拠した方針であり、本町も平成18年度分より、一般会計、特別会計の財務諸表の作成中であり、資産、債務の適切な管理、世代間の衡平、決算情報等、積極的に、住民に公表して参ります。

**問** 諸証明の交付申請時に、各種色別紙を使用しているが、住民が一度の記名で、各種の諸証明書の申請はできないか。

**答** (総務課長) 法律上で、申請時の記載事項が異なり、年間6万件を超える枚数があり、申請書の保管年数の差位、及び、事務処理上困難である。住民の皆様には、親切・丁寧に対応し、説明させて頂く。

使用されている各申請書



## 平野 和生 議員

中学校統合、早期決着を!!



**問** 中学校統合問題は、教育委員会から新たに4校案が提出された。現状では、モアベターな案だと思うが、東和中と久賀中は、耐震強度の不足が指摘され、補強ないし改築の必要があると聞くが、その場合の財源は確保されているのか。又、他の事業との見直しを考慮して行うのか問う。

**答** (教育長) 4校案の場合、久賀中は築45年、東和中は築38年経過している。久賀中はコンクリートの強度はあるが東和中が強度不足の為、生徒の安全面を考え、まず先に東和中の改築をお願いしている所であり、久賀中は年次計画で補強、改築を行っていきたく

考えている。

**問** 私自身は、町内には、1校で、しかも新築の校舎を建ててやるのが1番だと思うが、財政面から考えると無理であろう。従って今回示された4校案を早急に決定して、子供達の勉学に不安のないよう補強、改築を望む。

**答** (教育長) 校舎改築には、多額の費用が必要である。現段階では財源の確保はされていないが、今後、中学校統合問題について、議会の皆様の理解を頂いた後に、事業の見直し等を含め、町長部局と十分協議しながら財源の確保に努めていきたい。



東和 中学校